

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前	稲村 務		所 属	法文学部 人間科学科		職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.20	グローバル人材を養成すべく、学生の英語、中国語のスキルを上げ、異文化に対する理解を深めさせる。		0.20	従来の授業で英語教育を充実させるとともに、本年度は課外に中国語の特訓をした上で、鹿児島県大崎町と台湾で実習を行った。例年はやっていない実習報告書も現在作成中であり、作業をとおして学生の文章表現のスキルアップを図っている。		
研究	0.40	現在科研(C)を取っており、本年度が最終年度となる。次年度の科研申請のためにラオス、雲南、台湾、鹿児島などの調査を行い、特に学外の学会発表を積極的に行う。研究論文も5本を目標とする。また、現在私自身の論文博士ための学位請求論文を書き終え申請を済ませたところであり、本年度中に審査が終了できる見込みである。		0.40	論文博士(博士(学術) 3月6日付 東北大学)を授与された。それ以外に紀要論文2、エッセイ1、中期の報告書1、7月風響社より刊行予定の編著論文(査読有)1、書誌紹介1、新聞書誌紹介1を書いた。研究会発表5、シンポジウムコメント1を行った。現在共編の実習報告書1を編集中。新たに民博と東外大の共同研究員に採択された。		
社会貢献	0.10	学会、科研の成果発表を通じて市民に還元したい。		0.10	研究会(民博、東北大、九州人類学研究会、仙人の会、中期目標学内研究会)で5回発表、東北大学の世界遺産関連のシンポジウムのコメンテーターなどで市民にも広く還元した。		
管理運営	0.10	進路支援委員として働く。		0.10	進路支援委員として各種の調整役にあたった。国際交流委員、遺伝子組み換え審議委員として会議に参加した。		
進路指導	0.20	4年次学生就職100%を目指す。		0.20	4年次の就職は100%だった。		
	0.00			0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				学外に公表してよい			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		山里 純一.	所 属		法文学部 人間科学科	職 名		教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果			
教育	0.30	専門科目および共通教育科目について、授業評価アンケートを参考にしながら授業改善につとめる。大学院前期課程学生の修士論文指導を行う。また後期課程の総合演習に出席する。課外活動の支援・アドバイスも積極的に行う。		0.30	授業科目については一定程度の授業内容を改善することができた。また課外活動のサポートも万全に行い得たが、大学院前期課程の学生が修士論文執筆・提出に至らなかった点は指導不足を反省しなければならない。			
研究	0.30	学科および専攻紀要の原稿を執筆する。雑誌特集号の依頼原稿を執筆する。学会シンポジウムに参加する。		0.30	法文学紀要『人間科学』と『地理歴史人類学』(別冊)に「水」をテーマとした論文が掲載された。『アジア遊学』にも寄稿したが年度内出版に至っていない。			
社会貢献	0.20	石垣市史の「移民編」「民話編」「石垣市大浜町合併資料集」の編集にかかわる。八重山の中学生向け副読本『八重山の歴史と文化、自然』(仮称)を分担執筆する。『金武町史』の執筆に向けた民俗調査を行う。放送大学の客員教員を継続し面接授業を担当する。		0.20	石垣市史の編集全体会議および部会に出席した。平得・真栄里の方言語り民話の翻字作業を継続して行った。八重山歴史の「古代」と「中世」の一部を分担執筆した中学生向けの副読本が刊行された。金武町史の民俗調査を10回行った。放送大学の面接授業を第1学期と第2学期にそれぞれ1回ずつ行った。			
管理運営	0.10	法文学部人間科学科地理歴史人類学主任および法文学部地域貢献支援委員会委員をつとめる。		0.10	法文学部の専攻主任と地域貢献支援委員を大過なくつとめた。			
進路指導	0.10	3年次指導教員として、就職センター利用、インターンシップ、求人など		0.10	3年次の指導教員として学生の指導にあたった。			
	0.00			0.00				
計	1.00			1.00				

※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。

学外公表に同意しない。

学内公表に同意しない。

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		寺石 悦章	所 属	法文学部 人間科学科	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.50	新規授業の準備はもちろんだが、前年度から継続している授業についても学生の関心やニーズを考慮し、よりわかりやすく効果的な授業にするため、十分な時間をかけて準備を行う。		0.50	十分な時間をかけて準備を行うことができた。	
研究	0.20	研究成果を活用する形で授業用の教科書を執筆する。		0.20	研究成果を活用する形で授業用の教科書を2冊執筆した。	
社会 貢献	0.20	教員免許更新教習の講習を計5日間行う。また地域の方々のニーズに応じて毎週行っている勉強会を継続する。		0.20	教員免許更新教習の講習を計5日間行った。また地域の方々のニーズに応じて毎週行っている勉強会を継続した。	
管理 運営	0.05	教育委員・自己点検委員などの仕事を適切に遂行する。		0.05	教育委員・自己点検委員などの仕事を適切に遂行することができた。	
進路 指導	0.05	年次指導教員として担当学年の学生たちに、またゼミの指導教員としてゼミの学生たちに対し、就職指導・進路指導を積極的に行う。		0.05	年次指導教員として担当学年の学生たちに、またゼミの指導教員としてゼミの学生たちに対し、就職指導・進路指導を積極的に行った。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		浜崎 盛康	所 属	法文学部 人間科学科	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.25	学部長として、担当する授業を減らすが、ゼミ等は引き続き指導する。		0.25	学部長として、担当する授業を減らすが、ゼミ等は引き続き指導した。	
研究	0.15	従来の研究をまとめることに、重点を置く。		0.15	従来の研究をまとめることに重点を置きながらも、学内の中期計画プロジェクト経費に採択され、調査・研究を行い、報告書をまとめた。	
社会貢献	0.00	直接的な社会貢献活動は、今年度は控える。		0.00	直接的な社会貢献活動は、今年度は控えた。	
管理運営	0.50	学部長として、管理運営業務を適切にこなす。		0.50	学部長として、不慣れな面もあったが、管理運営業務を適切にこなした。	
進路指導	0.10	ゼミの学生を中心に、進路指導を行う。		0.10	ゼミの学生を中心に、進路指導を行った。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		安藤 由美	所 属		法文学部 人間科学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果			
教育	0.30	・講義では、受講生の主体的参加を促す。・演習では、履修生に対する個別面談・指導を充実させる。・WebClassシステムを活用して、学生への情報提供、授業外学修の確保、成績資料の開示などを充実させる。・研究業績の授業への反映させる。・修論指導。		0.30	・講義では、受講生の主体的参加を促した。・演習では、履修生に対する個別面談・指導を充実させた。・WebClassシステムを活用して、学生への情報提供、授業外学修の確保、成績資料の開示などを充実させた。・研究業績の授業への反映させた。・修論指導を適切に行った。			
研究	0.30	・ハワイ東西センター国際会議におけるパネルセッション発表 ・沖縄総合社会調査2014実施のための科研費助成獲得に向けた準備作業 ・戦争体験ライフストーリーの分析と原稿執筆		0.30	・ハワイ東西センター国際会議におけるパネルセッション発表を行った。 ・沖縄総合社会調査2014実施のための科研費助成獲得に向けた準備作業を行った。 ・戦争体験ライフストーリーの分析と原稿執筆を行った。			
社会貢献	0.10	・日本家族社会学会、日本家族問題研究学会それぞれの編集委員会専門委員 ・沖縄県立看護大学倫理審査専門部会委員としての活動		0.10	・日本家族社会学会、日本家族問題研究学会それぞれの編集委員会専門委員 ・沖縄県立看護大学倫理審査専門部会委員としての活動			
管理運営	0.20	・全学委員会としての貢献(URGCC委員会委員) ・学部内各種委員としての貢献(教育委員会委員)		0.20	・全学委員会としての貢献(URGCC委員会委員) ・学部内各種委員としての貢献(教育委員会委員)			
進路指導	0.10	主に学部の自専攻学生に対する進路指導を行う。		0.10	主に学部の自専攻学生に対する進路指導を行う。			
	0.00			0.00				
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		本村 真	所 属		法文学部 人間科学科
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.25	専門科目(児童福祉論、ソーシャルワーク論、地域福祉演習、卒業論文等)を担当する。各講義やゼミにおいて、学生の主体的参加を促す方法やコミュニケーションスキル等の専門スキルを習得させる方法の向上を目指す。		0.25	専門科目として児童福祉論、ソーシャルワーク論、地域福祉演習、卒業論文等を担当し、加えて大学院科目も担当した。各講義やゼミにおいては、学生の主体的参加を促すグループワークを活用し、チームワークを育むための工夫も行った。また現場実習の受け入れをスムーズに行ってもらうための関連施設における研修や外部評価への参加にも時間を割いた。
研究	0.30	児童虐待予防を可能にする地域の子育て支援力や、公的な児童虐待予防サービス等に関して、支援者のセルフ・ケアの方法やNPOの実践活動を含めた研究を行う。また、ジェンダー研究や、精神疾患(特に、うつ病や双極性障がい)に関する研究も実施する。法文学部概算要求研究プロジェクト実施に研究代表者として尽力し、平成27年度以降の継続研究による概算要求経費獲得に向けた取り組みも実施する。		0.30	児童虐待予防や被虐待児童等への支援をより円滑に行うための支援者のセルフ・ケアの方法について、TREという新たな技法に関する実践研究を深めた。精神疾患に関する研究では国際ジャーナルへの掲載も達成した(共著)。加えて、法文学部概算要求研究プロジェクト実施に尽力し、平成27年度以降の継続研究による概算要求経費獲得を実現した(国際沖縄研究所との協同研究)。
社会貢献	0.15	法文学部概算要求研究プロジェクトによる新しい公共に関連する国際シンポジウムや合宿形式の集いを実施することで、研究成果の地域社会への貢献をはかる。加えて、沖縄県福祉サービス第三者評価事業推進委員会への参加や、児童養護施設等において義務化された第三者評価事業等へ参加することで、地域社会の課題解決のためのシステム作りに寄与する。		0.15	概算要求研究プロジェクトによる新しい公共に関連する国際シンポジウムの実施とともに、全国10の離島の行政職員が参加した集いを実施し、今後のこれら地域の課題解決に向けてのネットワークの構築を達成した。沖縄県福祉サービス第三者評価事業推進委員会への参加や、児童養護施設等において義務化された第三者評価事業等への参加、加えて児童養護施設におけるスーパービジョン活動、専門里親継続研修における講義等により、研究成果の地域社会への貢献をはかった。
管理運営	0.20	法文学部概算要求研究プロジェクトにおける研究代表者として概算要求において獲得された研究プロジェクトの推進をはかると同時に、専攻主任業務を遂行し、全学の「研究に関する自己点検評価委員会」「第3期中期目標・中期計画プロジェクトチームメンバー」「教育と教育組織の在り方プロジェクトチームメンバー」、学部内においては「将来計画委員会」、その他入試関連業務を含む委員会活動等に積極的に参加する。		0.20	専攻主任として専攻における教育・行政の運営がスムーズに行われるように尽力した。学部概算要求研究プロジェクトにおける事務局と研究代表を担当しそのスムーズな推進と、次年度以降の継続研究の採択を達成した。全学の委員会(「教育と教育組織の在り方プロジェクトチームメンバー」等)や学部の将来計画委員会に積極的に参加した。
進路指導	0.10	福祉専門コースの学生に対して、進路決定や国家資格の現役合格に向けての支援を実施し、専門科目等を通して早い段階で、就職への意識を高めるような情報の提供も実施していく。加えて、2年次指導教員として、社会学専攻の2年次学生への早期の進路検討の重要性についての啓蒙をはかる。		0.10	社会福祉専門コースの学生に対して、進路決定や国家資格の現役合格に向けての支援を実施した。講義やゼミを通して、現役で資格取得することの意義実感し、就職への意識を高めるような情報の提供も実施した。2年次指導教員としても早期の進路検討の重要性についての啓蒙をはかった。複数の卒業生が就職している宜野湾市の福祉関連の各種委員を務め、今後の求められる人材像を明確にするために、採用したい人材等に関する情報交換も行った。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		野入 直美	所 属		法文学部 人間科学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	社会学原論ⅡではWeb Classを活用した学生どうしの双方向的な学びのかたちをデザインする。			0.30	社会学原論ⅡではWeb Classの活用による学生どうしの双方向的な学びのかたちについて基礎デザインができあがった。		
研究	0.40	科研基盤(C)代表者として研究を統括する。その他の科研の分担者として研究を遂行する。浦添市史に植民地部会執筆者として寄稿する。沖縄県史・女性史に寄稿する。			0.40	科研基盤(C)代表者として研究を統括した。その他の科研の分担者として研究を遂行した。浦添市史に植民地部会執筆者として寄稿した。沖縄県史・女性史に寄稿した。		
社会貢献	0.20	NPOアメラジアンスクール・イン・オキナワの理事として、アメラジアンの子どもの教育権保障を支援する。日本語指導教材等開発事業を統括する。			0.20	NPOアメラジアンスクール・イン・オキナワの理事として、アメラジアンの子どもの教育権保障を支援した。日本語指導教材等開発事業を統括した。		
管理運営	0.05	セクシャル・ハラスメント対策委員として問題の要望と発生後の対応に取り組む。			0.05	セクシャル・ハラスメント対策委員として問題の要望と発生後の対応に取り組んだ。		
進路指導	0.05	学生によるインターンシップ参加を奨励し、サポートする。			0.05	学生によるインターンシップ参加を奨励し、サポートした。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		鈴木 規之		所 属		法文学部 人間科学科		職 名		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.40	国際比較社会学Ⅰ・Ⅱ、社会学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(以上学部)、国際社会学特論・演習(修士)、アジア社会学特論・演習(博士)等、3つのレベルの講義・演習を滞りなく行う。とくに、博士2年次の留学生に対する指導を十分に行う。				0.40	国際比較社会学Ⅰ・Ⅱ、社会学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(以上学部)、国際社会学特論・演習(修士)、比較地域文化総合演習(博士)等、3つのレベルの講義・演習を滞りなく行った。また、タイ、ラオスからの留学生(特に、博士2年次の留学生)に対する指導を十分に行った。				
研究	0.30	研究代表者をつとめる文科省科研費(B)海外「東北タイの開発と市民社会形成—公共圏・社会関係資本・プラチャーコム—」(最終年)のプロジェクトを実施する。また、ラオス国立大学との研究交流を実施する。さらに平成27年度からの新規の科研費の獲得をめざす。				0.30	研究代表者をつとめる文科省科研費(B)海外「東北タイの開発と市民社会形成—公共圏・社会関係資本・プラチャーコム—」(最終年)のプロジェクトを実施し、国際セミナーを開催した。また、科研費を用いてラオス国立大学との研究交流も実施した。				
社会貢献	0.05	文科省科研費(B)海外などを用いてタイ・ラオスに対する国際貢献を行う。タイについては、2つの大学の客員教授としても国際貢献を行う。				0.05	文科省科研費(B)海外などを用いてタイ・ラオスに対する国際貢献を行った。ラオス国立大学とは留学生派遣/受入・講演を行った。タイについては、コンケン大学、ウドンタニラジャパット大学の博士課程の客員教授としても国際貢献を行った。				
管理運営	0.20	博士課程比較地域文化専攻主任、法文学部国際交流委員長として学部内の運営業務を行う。また、全学の国際交流委員および国際交流推進専門委員会座長として管理運営に参加する。				0.20	博士課程比較地域文化専攻主任、法文学部国際交流委員長として学部内の運営業務をつつがなく行った。また、全学の国際交流委員および国際交流推進専門委員会座長として管理運営に参加した。				
進路指導	0.05	学部のゼミ受講生、修士課程の学生、博士課程の学生に対する進路指導を行う。				0.05	学部のゼミ受講生、修士課程の学生、博士課程の学生に対する進路指導を行った。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		鈴木 良		所 属	法文学部 人間科学科		職 名	准教授	
領域	業務 ウエイト 比(予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウエイト 比(実)	平成26年度 年度末自己点検結果			
教育	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 複眼的な視点を養成するため社会福祉学と共に、人文社会科学の視点から授業を行う 生活問題解決力を養成するため、生活問題に関わる具体的事例を検討する授業を行う 講義授業でもグループディスカッションや学生の発表を取り入れ、対話型の授業を行う。 近年の日本及び海外の調査研究の成果を授業内容に反映させる。 実習・演習において学生の個々の目標到達に向けて個別指導を重視する。 			0.30	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉学を含む人間学的な視座から授業を行うことができた。とりわけ障害学の視座を重視した。 とりわけ演習・実習指導の科目において事例検討を通して学生が主体的に問題を解決する授業を行った。 演習・実習指導だけではなく通常の講義科目においても学生との双方向型の授業に工夫して実践した。 日本や海外における研究調査の成果を学生に紹介しながら授業を展開した。 			
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 2014年度の日本社会福祉学会及び障害学会の大会にて発表 日本社会福祉学会あるいは障害学会へ査読付き論文の投稿 日本社会福祉学会の学会誌『社会福祉学』の査読委員の継続 障害学会沖縄大会の実行委員として活動 平成26年度科学研究費助成事業(若手研究B)における研究の遂行 			0.30	<ul style="list-style-type: none"> 2014年度の日本社会福祉学会において口頭発表、障害学会ではポスター発表を行った。 障害学会機関誌『障害学研究』第11号において論文(査読付き)の掲載が決定している。 日本社会福祉学会機関誌の『社会福祉学』の査読委員として1本の論文査読を行った。 障害学会沖縄大会において実行委員として広報活動を主に行った。 平成26年度科学研究費助成事業(若手研究B)における研究としてカナダ及び日本の実態調査を行った。 			
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある人もない人もいのち輝く条例づくりの会における条例マニュアル作りに参画 障害学研究会九州沖縄部会に参画 NGO地に平和のメンバーとしてニュースレターへの連載 沖縄国際大学南島文化研究所主催のセミナー及び障害者の権利条約の実施過程研究会主催の研究会の広報を担当し、県民への障害者の権利についての啓発活動を行う。 			0.10	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある人もない人もいのち輝く条例づくりの会のマニュアル作りのための会合に参加した。 障害学研究会九州沖縄部会の企画についての話し合いに参加した。 NGO地に平和の機関誌『シンビオーシス』において沖縄における福祉問題について報告した。 沖縄国際大学南島文化研究所主催のセミナー及び障害者の権利条約の実施過程研究会主催の研究会の 広報を担当し、県民への障害者の権利についての啓発活動を行った。 			
管理運営	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 全学及び学部内の各種委員会の委員としての役割を適切に遂行する。 専攻会議や教授会など参加が求められる会議は全て出席し大学運営の仕組みを理解する。 所定の入試関連業務を遂行する。 社会福祉士実習関連業務を適切に遂行する。 			0.20	<ul style="list-style-type: none"> 全学及び学部内の各種委員会の委員としての役割を適切に遂行した。さらに休養中の教員に代わり、その教員の所属する委員会の活動も行った。 専攻会議や教授会など参加が求められる会議は全て出席した。 所定の入試関連業務を遂行した。 社会福祉士実習関連業務を適切に遂行した。 			
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉士国家試験対策についての問い合わせに対しては積極的に対応する。 社会福祉現場での就職相談があれば丁寧に対応する。 			0.10	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉士国家試験対策として勉強方法についての問い合わせを受け、適切に対応した。 社会福祉現場での就職状況について学生から随時問い合わせがあるが、経験上知る限りの情報提供を行っている。また、関係機関から就職情報について情報提供を受けた際には適切に学生への周知を行っている。 			
	0.00				0.00				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				